

事例 35

# 津軽ダムを知りつくそう

### DATA

場 所：青森県中津軽郡西目屋村  
実 施 者：津軽ダム工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (0172) 85-3005]  
参 加 者：西目屋村立西目屋中学校  
実 施 日：平成12年11月28日（発表）

関係する分野



### 背景

西目屋中学校では、平成12年度の「総合的な学習の時間」として、「ふるさと学習」（環境・文化・福祉）テーマとして、“西目屋の植物について”“西目屋の歴史”などを9つのメニューを設定しました。その中に津軽ダムについて取り組んだ班があり、津軽ダム工事事務所ではダムの役割について説明を実施しました。

### 内容

学年オープン型式で、4～6名程度で構成される班を11班つくります。津軽ダムを選んだ班は、各地区の住民インタビュー、津軽ダム工事事務所を訪問しダムの役割を学習した上で、内容をまとめ、発表しました。その後、反省と評価を行いました。それらの結果を踏まえ、平成13年度の学習計画の立案を行いました。



事務所長の説明を熱心に聞く生徒たち

### ポイント

- 実際にダムを見学することによりダムの大きさなどを目で見て分かっていただけるようにしています。
- 住民のインタビューを取り入れたことにより、ダムの必要性を感じるようにしました。
- 生徒たちが、地域を支える施設としてダムを身近に感じてもらいたいような内容にしています。

### 成果

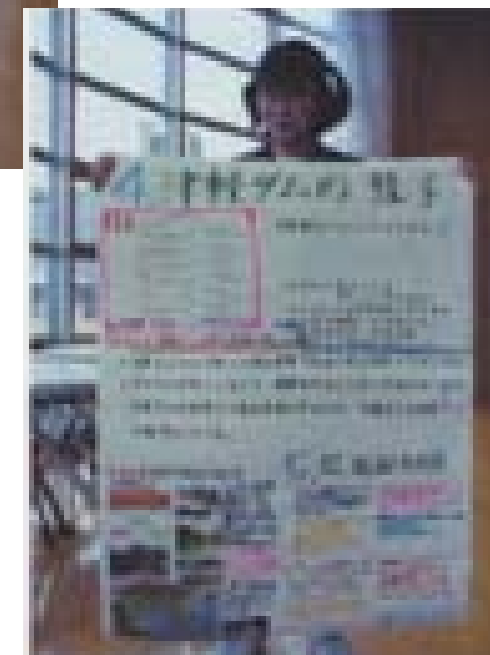
公共事業や地域に対する理解を深めてもらうことができました。学習結果まとめることで、より一層の理解を深めていただきました。



グラフなどをつかい上手にできています



校内での発表



発表作品

### 次のステップに向けて

- 公共事業とは、地域の要望があり調査を行い、様々な意見を聞き、住民へのヒアリングを行い、住民の合意を得て開始され、完成した後の管理までも指します。公共事業の仕組みについて学習することも考えられます。
- 環境問題が重視されているので、自然環境に目を向けた事業の学習を行うことも考えられます。